

**環境研究・環境技術開発の推進戦略（パブコメ版）に対する
意見の募集（パブリックコメント）の実施結果について**

令和6年7月19日

中央環境審議会総合政策部会

環境研究・技術開発推進戦略専門委員会

1. 概要

「環境研究・環境技術開発の推進戦略（パブコメ版）」について、以下のとおり意見の公募（パブリックコメント）を実施しました。

- (1) 意見募集期間：令和6年6月24日（月）から令和6年7月7日（日）
- (2) 告知方法：e-Gov、環境省ホームページ、報道発表
- (3) 意見提出方法：e-Gov、郵送、電子メールのいずれかの方法

2. 意見募集の結果

- (1) 意見件数：23件 ※うち、本戦略に関係のないご意見：5件
- (2) お寄せいただいたご意見の概要とご意見に対する考え方：以下のとおり

※意見の概要に記載された内容は、基本的にいただいた御意見から抜粋したのですが、明らかな誤字や変換ミス等については、修正しております。

※意見の概要の該当ページ数・行数は意見募集に付した際のものであります。

No.	意見の概要	意見に対する考え方
第2章 目指すべき社会像と環境分野の研究・技術開発の在り方		
1	4ページの19行「第五次環境基本計画案」について。なぜ計画ではなくて計画案なのか。	「第五次循環計画案」のご指摘かと思いますが、現時点でまだ閣議決定がされていないことから、「案」をつけております。
2	世界全体のネットゼロ、我が国におけるネットゼロ、(我が国の) 適応策による安全・安心で持続可能な社会構築の順に整理されており、一見十分に見えるが、資源循環領域のような、我が国が世界やASEAN等に貢献していることも含めるべきではないか。例えば、「世界やASEANを初めとする新興国等に、我が国の脱炭素や気候変動適応に関する技術・政策等が活用されている。」。 P13の「(2) 気候変動領域」の全体説明の冒頭(5~6行目)には、「我が国が有する技術・ノウハウを活用し、官民で連携しながら、世界全体の気候変動対策に取り組んでいく。」とあるので、上記の追加は整合の観点からも合理的であると考えます。	目指すべき社会像として、政府目標である「世界全体で2030年頃までの10年間(勝負の10年)における行動の加速、科学に沿った2050年ネット・ゼロの達成が実現している。」を記載しています。いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。
3	「本戦略は、我が国全体の環境分野における研究・技術開発の大きな方向性を示すものとして位置付ける。」と明記しつつ、環境省に求めること、環境省以外に望むことが簡潔かつ適切に述べられていることを高く評価したい。省庁縦割りにこだわった仕分けの議論よりも、上記の観点に立った議論が環境省内部や環境省関連の委員会等でなされるように強く期待する。	いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。
4	国際的な施策展開の在り方として必要なことのひとつが書かれているが、これだけで良いのだろうか。例えば、次の文章のような記述が追加されると良いのではないだろうか。 「また、地球の持続可能性、ウェルビーイングが実現された国際社会の持続可能性等に向けた我が国の貢献が必要である。」	国際的な枠組みへの貢献など、それぞれの領域ごとに記載しております。いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。

第3章 環境分野の研究・技術開発及び社会実証・実装に係る課題		
5	「ニーズに感度良くなる」は「ニーズに感度が良くなる」が適切。	ご指摘踏まえ、修正しました。
6	「社会実装」の単純な理解（誤解）を戒めると共に、「社会実装のための総合知」の意味、意義を簡潔に述べており高く評価したい。研究提案者にも、評価者や環境省や関連組織等においても、この観点をしっかり踏まえて頂くことを期待する。	いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。
7	国内施策については必要十分な技術と考える。ただ、国内で蓄積された研究・技術開発の成果の国際展開も追加して頂けるともっと良いと考える。開発途上国では「災害環境」の下で長期間生活する人々も多い。これまでは、「災害環境研究＝東日本大震災からの復興研究」という性格が強かったことは自然な流れではあるが、第2段落、第3段落の観点も含め、国際貢献とビジネスの展開の両観点からの記述の追加が望まれる。例えば、30行目の「さらに、」を「また、」に変えて、33行目の後に段落を追加して、例えば次の一文を追加してはどうか。 「さらに、我が国で開発された災害・事故に伴う環境問題に関する研究・技術開発の成果をアジアを中心として世界に展開することは、国際貢献の観点からもビジネスの観点からも重要である。」	アジア等への貢献については、それぞれの領域・分野ごとに記載しております。「被災地の復興と新しい環境の再生・創造や、今後想定される大規模な災害への対応に向けた安全で安心な地域社会づくり等に資する研究・技術開発及びその成果の社会実装を推進していくこと」を考えております。
8	「(2) 気候変動領域」の説明の第1段落（P13の4～6行目）の趣旨を踏まえ、重点課題⑥の説明の最後の文（28行目）を、例えば、次のように修正する。 「こうした情勢を踏まえ、気候変動の緩和策に係る研究・技術開発を進めると共に、世界全体の脱炭素に貢献する必要がある。」	ご指摘を踏まえ、「こうした情勢を踏まえ、気候変動の緩和策に係る研究・技術開発は国際展開を見据え、進めていく必要がある。」としました。
9	「(2) 気候変動領域」の説明の第1段落（P13の4～6行目）の趣旨を踏まえ、重点課題⑥の説明の最後の文の後に、例えば以下の文を追加する。 「さらに、我が国で開発された気候変動影響評価手法や気候変動適応技術、政策パッケージ等を、国際貢献とビジネスの観点からアジアを中心として世界に展開することも重要である。」	同様の主旨がすでに記載されていると考えます。
10	【重点課題④】災害・事故に伴う環境問題への対応の〔研究・技術開発例〕への追加	今後5年間の重点課題としては、記載のとおり「被災地の復興と新しい環境の再生・

	「・災害・事故に伴う環境問題に関する研究・技術開発のアジア等世界への展開」	創造や、今後想定される大規模な災害への対応に向けた安全で安心な地域社会づくり等に資する研究・技術開発及びその成果の社会実装を推進していくこと」等が重要と考えます。
11	「【重点課題⑥】 気候変動緩和策」の〔研究・技術開発例〕への追加 「・気候変動の緩和策に係る研究・技術開発のアジア等世界への展開」 (本研究・技術開発例が「【特など】に該当する場合は12行目に追加する。）」	ご指摘を踏まえ、別紙に「アジア等国際的な脱炭素移行支援のための基盤整備事業【特】」を追記しました。
12	「【重点課題⑦】 気候変動適応策」の〔研究・技術開発例〕への追加 「・気候変動影響評価手法、気候変動適応技術、政策パッケージ等のアジア、世界への展開」	ご指摘を踏まえ、別紙に「温室効果ガス観測技術衛星等による排出量検証に向けた技術高度化事業等【特】」を追記しました。
13	「国際ルール形成等を含めた統合的なアプローチが必要」と記載があるが、国際プラスチック条約締結に向けたINC4にて”国別基準を設けること”をアピールしているのは本文言と乖離していないか。実際の動きとしても「国際ルール形成等を含めた統合的なアプローチ」のため、日本も国別基準ではない世界共通で視座の高い国際ルール形成を目指してほしい。	国際ルール形成等を通じた国際展開を想定して記載しましたが、ご指摘踏まえ、「国際ルール形成等を含めた総合的なアプローチ」に修正いたします。
14	廃棄物管理や資源循環だけでなく、循環型社会形成推進基本法（循環基本法）の基本原則に沿って、なによりも「発生抑制」を進める必要があると考える。また、近年問題視されている、新興国への廃プラスチックの輸出をなくし、環境汚染等の低減に貢献してほしい。	本専門委員会では、第五次循環型社会形成推進基本計画（案）の主旨を踏まえ、環境分野の研究・技術開発の方向性を議論しております。ご指摘踏まえ、環境行政の推進に努めていきたいと思っております。
15	プラスチックの生産と焼却により、気候変動の原因となるCO ₂ が大量に排出されている。そのため、焼却(エネルギー回収)を解決策とせず、循環型社会形成推進基本法（循環基本法）の基本原則に沿って、なによりも「発生抑制」を進める必要があると考える。また、リユース・リフィル・リペアもエネルギー回収・リサイクルよりも優先的に取り組んで欲しい。	本専門委員会では、第五次循環型社会形成推進基本計画（案）の主旨を踏まえ、環境分野の研究・技術開発の方向性を議論しております。ご指摘踏まえ、環境行政の推進に努めていきたいと思っております。

	例)LOOP などのリユースプラットフォーム構築/パッケージのない量り売りの拡大	
16	13 ページの 8 行目「さらに」と、19 ページの 26 行目「更に」とは、どちらかに字句を統一したほうがよい。	接続詞として使用している場合は「さらに」に統一いたします。
第 4 章 環境分野の研究・技術開発及び社会実証・実装の効果的な推進方策		
17	31 ページの 8 行のカギカッコは削除したほうがよい。7 ページの 13 行の例と同様に。	ご指摘踏まえ、修正しました。
18	39 ページの 5 行「二酸化炭素」は「CO2」のほうがよい。他の箇所の例と同様に。	事業の名称であることから、原案のとおりといたします。